

第2章 高齢者の現状と将来推計

1 高齢者の現状

(1) 人口構成

- 2020年10月1日現在の本県の人口は、7,541,123人で、2017年と比べ14,212人増え、0.2%の増加となっています。
- このうち65歳以上人口は1,883,453人で、2017年と比べ53,654人増え、2.9%の増加となっています。
- 高齢化率（65歳以上人口の総人口（年齢不詳を除く）に対する割合）は25.2%となり、年々上昇し、高齢化が進行しています。
なお、全国の高齢化率は28.4%（総務省「人口推計」2019年10月1日（確定値））となっており、本県の場合、3ポイント程度低い状況です。
- 75歳以上の後期高齢者人口は965,966人で、2017年と比べ89,577人増え、10.2%の増加となっています。
- 一方、介護保険の被保険者となる40歳以上人口は4,398,060人で、2017年と比べ89,242人増え総人口（年齢不詳を除く）に対する割合は59.0%となり、県民の半数以上が40歳以上という状況です。
- なお、0～14歳人口の総人口（年齢不詳を除く）に対する割合は13.2%で、65歳以上人口の割合より12.0ポイント低くなっています。
- 老人福祉圏域別の人口構成をみると、65歳以上人口の割合が最も高い圏域は、三河山間地域を抱える東三河北部圏域で39.1%となっており、県平均の25.2%に比べて13.9ポイント高くなっています。
- 一方、高齢者人口の割合が最も低い圏域は、自動車関連企業が集中する西三河南部西圏域で22.2%となっており、最も高い東三河北部圏域と比較すると16.9ポイント低くなっています。
- なお、2017年と比べると、各圏域とも65歳以上人口の割合が上昇しています。

◆ 人口構成の推移

区 分		2000年	2010年	2015年	2017年	2020年
総人口		人 7,043,300	人 7,410,719	人 7,483,128	人 7,526,911	人 7,541,123
年齢 三分 区 分	0～14歳	(15.4) 1,081,280	(14.5) 1,065,254	(13.8) 1,022,532	(13.5) 1,009,066	(13.2) 981,181
	15～64歳	(69.8) 4,914,857	(65.2) 4,791,445	(62.4) 4,618,657	(61.9) 4,609,835	(61.6) 4,595,533
	65歳以上	(14.5) 1,019,99	(20.3) 1,492,085	(23.8) 1,760,763	(24.6) 1,829,799	(25.2) 1,883,453
年齢 別	40歳以上	(48.3) 3,402,188	(52.3) 3,918,751	(57.0) 4,218,119	(57.8) 4,308,818	(59.0) 4,398,060
	75歳以上	(5.6) 393,541	(8.9) 652,929	(10.8) 797,920	(11.8) 876,389	(12.9) 965,966

(注1) 総人口には年齢不詳を含むため、年齢三分区の合計とは一致しない。

(注2) カッコ内は、2000年は総人口に対する割合(%)、2010年、2015年、2017年、2020年は年齢不詳を除いた総人口に対する割合(%)

(資料) 2000年、2010年、2015年は「国勢調査」、2017年、2020年は「あいちの人口」(県民文化局)(各年10月1日現在)

◆ 圏域別人口構成(2020年10月1日現在)

区 分	総人口	40歳以上人口		65歳以上人口		75歳以上人口	
	人	人	%	人	%	人	%
名古屋・尾張中部	2,499,750	1,453,278	59.1	615,753	25.0	323,111	13.1
海部	326,898	201,208	62.0	89,964	27.7	46,981	14.5
尾張東部	478,049	276,329	58.5	117,016	24.8	60,818	12.9
尾張西部	513,914	314,560	61.7	140,592	27.6	73,426	14.4
尾張北部	731,714	435,693	60.4	192,458	26.7	99,825	13.8
知多半島	625,161	360,556	58.3	156,844	25.3	80,446	13.0
西三河北部	486,002	270,769	56.1	109,326	22.6	51,430	10.7
西三河南部東	427,932	243,967	57.3	100,323	23.6	48,036	11.3
西三河南部西	704,834	388,230	55.4	155,721	22.2	77,072	11.0
東三河北部	52,207	36,620	70.4	20,353	39.1	10,929	21.0
東三河南部	694,662	416,850	60.3	185,103	26.8	93,892	13.6
計	7,541,123	4,398,060	59.0	1,883,453	25.2	965,966	12.9

(注) 年齢不詳を除いた総人口に対する割合(%)

(資料) 「あいちの人口」(県民文化局)

(2) 第1号被保険者数

- 2020年4月末現在の本県の第1号被保険者数は1,877,264人で、2017年と比べて3.4%増加しています。
- 圏域別では、名古屋・尾張中部圏域が611,777人で32.6%を占めています。次いで、尾張北部圏域が193,578人で10.3%、東三河南部圏域が184,634人で9.8%の順になっています。
- 圏域別の2017年4月から2020年4月までの増加率では、西三河北部圏域が6.2%増と最も高く、東三河北部圏域が増加なしと最も低くなっています。

◆ 圏域別第1号被保険者数

区 分	2000年 4月 (A)		2017年 4月 (B)		2020年 4月 (C)		C/B	C/A
	人	%	人	%	人	%		
名古屋・ 尾張中部	354,827	35.4	596,712	32.9	611,777	32.6	102.5	172.4
海 部	44,950	4.5	87,973	4.8	89,923	4.8	102.2	200.1
尾張東部	53,140	5.3	111,308	6.1	115,691	6.2	103.9	217.7
尾張西部	71,571	7.1	135,904	7.5	140,212	7.5	103.2	195.9
尾張北部	89,625	8.9	187,776	10.3	193,578	10.3	103.1	216.0
知多半島	82,035	8.2	152,149	8.4	157,472	8.4	103.5	192.0
西三河北部	47,159	4.7	102,698	5.7	109,027	5.8	106.2	231.2
西三河南部東	50,305	5.0	93,662	5.2	99,209	5.3	105.9	197.2
西三河南部西	83,394	8.3	148,140	8.2	155,174	8.3	104.7	186.1
東三河北部	17,406	1.7	20,559	1.1	20,567	1.1	100.0	118.2
東三河南部	107,542	10.7	178,850	9.9	184,634	9.8	103.2	171.7
合 計	1,001,954	100.0	1,815,731	100.0	1,877,264	100.0	103.4	187.4

(注) %は構成比、端数処理の関係で、合計値が合わない箇所あり。

(資料)「介護保険事業状況報告」

(3) 高齢者等のいる世帯の状況

- 2015年国勢調査によれば、本県の「一般世帯」数は3,059,956世帯であり、2010年と比べ130,013世帯増え、4.4%の増加となっています。
- 「65歳以上の高齢者のいる世帯」数は1,142,864世帯で「一般世帯」数に占める割合は37.3%となり、10世帯に4世帯は高齢者のいる世帯となっています。
また、2010年と比べると150,995世帯増加し、15.2%の増加となり、「一般世帯」数の約3.5倍の増加になっています。
- 高齢者の「高齢単身世帯」数は、280,764世帯で「65歳以上の高齢者のいる世帯」数の24.6%を占め、2010年と比べると63,438世帯増加し、5年間で約1.3倍になっています。
- 夫が65歳以上、妻が60歳以上の夫婦のみの「高齢夫婦世帯」数は328,984世帯で「65歳以上の高齢者のいる世帯」数の28.8%となっており、2010年と比べ50,628世帯増え、18.2%の増加となっています。

- 「高齢単身世帯」数と「高齢夫婦世帯」数を合わせると、609,748世帯となり、「65歳以上の高齢者のいる世帯」数の53.4%が高齢者世帯となっています。
- 子どもなどと暮らしている「その他の同居世帯」数は533,116世帯で、これは「65歳以上の高齢者のいる世帯」数の46.6%であり、2010年と比べ36,929世帯増え、7.4%の増加となっています。

◆ 高齢者等のいる世帯の状況

区 分	一般世帯 A	左のうち65歳以上の高齢者のいる							
		世帯 B		高齡単身世帯 C		高齡夫婦世帯 D		その他の同居世帯 E	
		世帯	B/A %	世帯	C/B %	世帯	D/B %	世帯	E/B %
2000年	2,522,824	708,454	28.1	123,381	17.4	183,216	25.9	401,857	56.7
2010年	2,929,943	991,869	33.9	217,326	21.9	278,356	28.1	496,187	50.0
2015年	3,059,956 (4.4%)	1,142,864 (15.2%)	37.3	280,764 (29.2%)	24.6	328,984 (18.2%)	28.8	533,116 (7.4%)	46.6

(注) 2015年カッコ内は、2010年に対する増加率

(資料)「国勢調査」

- 圏域別にみると、「一般世帯」数に対する「65歳以上の高齢者のいる世帯」数の割合が最も高いのは、東三河北部圏域で61.0%となっており、逆に最も低い圏域は、西三河北部圏域の32.3%となっています。
- 「65歳以上の高齢者のいる世帯」数に占める「高齡単身世帯」数の割合は、名古屋・尾張中部圏域の32.3%が最も高く、次いで、尾張東部圏域及び尾張北部圏域の22.0%となっており、大都市及びその近郊を中心とした尾張地域で高くなっています。
- 「65歳以上の高齢者のいる世帯」数に占める「その他の同居世帯」数の割合は、西三河南部西圏域の55.3%が最も高く、次いで、東三河南部圏域の53.6%、西三河北部圏域及び東三河北部圏域の53.5%となっています。

◆ 圏域別高齢者世帯の状況

区 分	一般世帯 A	左のうち65歳以上の高齢者のいる							
		世帯 B		単身世帯 C		夫婦世帯 D		その他の同居世帯 E	
		世帯	B/A	世帯	C/B	世帯	D/B	世帯	E/B
名古屋・尾張中部	1,123,859	389,625	34.7	125,739	32.3	108,842	27.9	155,044	39.8
海部	122,402	54,823	44.8	11,032	20.1	15,641	28.5	28,150	51.3
尾張東部	184,429	68,237	37.0	14,981	22.0	23,285	34.1	29,971	43.9
尾張西部	192,239	84,896	44.2	17,538	20.7	24,180	28.5	43,178	50.9
尾張北部	290,111	115,376	39.8	25,396	22.0	37,965	32.9	52,015	45.1
知多半島	244,770	93,685	38.3	20,309	21.7	29,073	31.0	44,303	47.3
西三河北部	191,977	62,048	32.3	10,676	17.2	18,192	29.3	33,180	53.5
西三河南部東	160,889	57,686	35.9	11,569	20.1	16,448	28.5	29,669	51.4
西三河南部西	265,571	92,608	34.9	17,903	19.3	23,538	25.4	51,167	55.3
東三河北部	20,336	12,402	61.0	2,445	19.7	3,319	26.8	6,638	53.5
東三河南部	263,373	111,478	42.3	23,176	20.8	28,501	25.6	59,801	53.6
合計	3,059,956	1,142,864	37.3	280,764	24.6	328,984	28.8	533,116	46.6

(資料) 2015年「国勢調査」

(4) 要介護者等の状況

- 2020年4月末現在の要介護(要支援)認定者数の状況は、「要支援」が100,357人、「要介護」が218,591人で、合計318,948人となっています。
- 介護度別では、「要介護1」が最も多く18.1%、次いで「要介護2」の17.4%で、この2区分で全体の35.5%となっています。
- 2020年の要介護(要支援)認定者数を2000年と比較すると、374.7%に増加しており、特に、要支援(1059.8%)、要介護2(351.8%)、要介護3(307.3%)が大きく伸びています。

◆ 圏域別要介護・要支援者の状況（2020年4月末現在）

区 分	第 1 号 被 保 険 者	要介護・要支援認定者	出 現 率 (対第1号被保険者)
名古屋・ 尾張中部	人 611,777	人 118,495	% 19.4
海 部	89,923	14,166	15.8
尾張東部	115,691	17,804	15.4
尾張西部	140,212	22,234	15.9
尾張北部	193,578	29,027	15.0
知多半島	157,472	25,337	16.1
西三河北部	109,027	15,768	14.5
西三河南部東	99,209	15,188	15.3
西三河南部西	155,174	22,680	14.6
東三河北部	20,567	3,896	18.9
東三河南部	184,634	27,337	14.8
合 計	1,877,264	311,932	16.6
全 国	35,577,741	6,565,156	18.5

（資料）「介護保険事業状況報告」、市町村報告数値

- 圏域別に第1号被保険者に対する要介護・要支援認定者の出現率をみると、割合が最も高いのは名古屋・尾張中部圏域で19.4%となっており、逆に最も低い圏域は、西三河北部圏域の14.5%となっています。
- 本県全体の第1号被保険者に対する要介護・要支援認定者の出現率をみると、16.6%となっています。全国値が18.5%であることから、本県は第1号被保険者に対して要介護・要支援認定を受けられている方の割合は1.9ポイント低くなっています。

◆ 介護度別被保険者数の状況（2020年4月末現在）

区分	要支援			要介護						合計
	1	2	小計	1	2	3	4	5	小計	
第1号 被保険者	人 44,587	人 53,574	人 98,161	人 56,853	人 54,080	人 41,004	人 36,774	人 25,060	人 213,771	人 311,932
構成比	14.3%	17.2%	31.5%	18.2%	17.3%	13.1%	11.8%	8.0%	68.5%	100.0%
出現率(対第 1号被保険者)	2.4%	2.9%	5.2%	3.0%	2.9%	2.2%	2.0%	1.3%	11.4%	16.6%
第2号 被保険者	人 757	人 1,439	人 2,196	人 771	人 1,413	人 946	人 829	人 861	人 4,820	人 7,016
構成比	10.8%	20.5%	31.3%	11.0%	20.1%	13.5%	11.8%	12.3%	68.7%	100.0%
合計	人 45,344	人 55,013	人 100,357	人 57,624	人 55,493	人 41,950	人 37,603	人 25,921	人 218,591	人 318,948
構成比	14.2%	17.2%	31.5%	18.1%	17.4%	13.2%	11.8%	8.1%	68.5%	100.0%

（資料）「介護保険事業状況報告」

◆ 介護度別被保険者数の推移（各年4月末現在）

区分	要支援			要介護						合計
	1	2	小計	1	2	3	4	5	小計	
2000年 (A)	人 9,469		人 9,469	人 19,895	人 15,774	人 13,653	人 14,793	人 11,536	人 75,651	人 85,120
2015年 (B)	40,278	42,839	83,117	51,577	50,374	35,723	32,251	24,825	194,750	277,867
2017年 (C)	42,783	47,707	90,490	54,421	52,603	38,202	33,534	24,921	203,681	294,171
2020年 (D)	45,344	55,013	100,357	57,624	55,493	41,950	37,603	25,921	218,591	318,948
D/A	-	-	1059.8%	289.6%	351.8%	307.3%	254.2%	224.7%	288.9%	374.7%
D/B	112.6%	128.4%	120.7%	111.7%	110.2%	117.4%	116.6%	104.4%	112.2%	114.8%
D/C	106.0%	115.3%	110.9%	105.9%	105.5%	109.8%	112.1%	104.0%	107.3%	108.4%

（資料）「介護保険事業状況報告」（第2号被保険者を含む。）

（注）2006年度から「要支援」が「1」と「2」に分かれた。

(5) 高齢者等のいる世帯の住居の状況

住宅の所有状況

- 2018年の住宅・土地統計調査によれば、本県の世帯数は3,005,200世帯で、そのうち「持ち家」の世帯が約6割となっています。
- 高齢者のいる世帯の住宅の所有関係をみると、「持ち家」の割合は、「65歳以上親族のいる世帯」全体では80.6%、特に夫が65歳以上、妻が60歳以上の夫婦のみの「高齢夫婦世帯」では85.6%と、全世帯の61.3%を大きく上回っています。
- 一方、高齢者の「ひとり暮らし世帯」では、「持ち家」の割合は約6割と全世帯とほぼ同じですが、「公営、公社等の借家」の割合が13.3%と、全世帯の5.4%と比べ高くなっています。

◆ 住宅の所有状況

(世帯)

区 分	全 世 帯	65歳以上の 親族のいる世帯		
		ひとり暮らし世帯	高齢夫婦世帯	
持 ち 家	1,840,900 (61.3%)	956,900 (80.6%)	190,500 (61.9%)	275,700 (85.6%)
公営、公社 等の借家	161,200 (5.4)	87,200 (7.3)	40,900 (13.3)	21,600 (6.7)
民営の借家	928,400 (30.9)	137,500 (11.6)	75,300 (24.5)	22,300 (6.9)
給 与 住 宅	70,800 (2.4)	2,600 (0.2)	900 (0.3)	500 (0.2)
そ の 他	3,900 (0.1)	3,200 (0.3)	0 (0.0)	1,900 (0.6)
合 計	3,005,200 (100.0)	1,187,400 (100.0)	307,600 (100.0)	322,000 (100.0)

(注) 住宅の所有関係「不詳」を除く。カッコ内は構成比。
端数処理の関係で、合計値が合わない箇所あり。

(資料) 2018年「住宅・土地統計調査」

住宅の建築時期

- 本県の持ち家の建築時期についてみると、65歳以上の世帯員がいる世帯の場合、1980年以前に建てられた住宅に住んでいる世帯の割合が40.2%となっており、持ち家全体の割合の25.3%に比べて高くなっています。

◆ 住宅（持ち家）の建築時期

区 分	持ち家の全体		65歳以上の世帯員がいる世帯		65歳以上の世帯員がいない世帯	
1950年以前	2.8%	25.3%	4.7%	40.2%	0.6%	7.7%
1951年～1970年	7.1		11.5		1.9	
1971年～1980年	15.4		24.1		5.2	
1981年～1990年	17.6		23.2		11.2	
1991年～2000年	21.0		18.7		23.6	
2001年～2010年	20.7		11.7		31.1	
2011年～2018年9月	15.5		6.2		26.4	

(注) 数値は、「持ち家」の建築時期別の構成比を表す。(建築時期「不詳」を除く。) 端数処理の関係で、合計値が合わない箇所あり。

(資料) 2018年「住宅・土地統計調査」

高齢者のための住宅改修の実施状況

- 持ち家のある世帯の住宅改修の状況を見ると、65歳以上の世帯員がいる世帯の方が、65歳以上の世帯員がいない世帯に比べ、住宅改修の実施率が約15ポイント高くなっており、改修内容としては、「手すりの設置」や「トイレの改修」「浴室の改修」を実施した割合が高くなっています。

◆ 住宅（持ち家）改修の実施状況

区 分	持ち家全体	65歳以上の世帯員がいる世帯	65歳以上の世帯員がいない世帯
住宅改修の総数	12.3%	19.2%	4.8%
階段や廊下の手すりの設置	7.3	11.7	2.5
屋内の段差の解消	2.2	3.4	0.9
浴室の改修	5.0	7.8	2.0
トイレの改修	5.4	8.6	1.8
その他	0.8	1.2	0.5

(注) 数値は、「持ち家」のうち、住宅改修を実施した総数の割合と、各区分の住宅改修を実施（複数実施あり）した割合を表す。

(資料) 2018年「住宅・土地統計調査」

(6) 高齢者の就業状況

- 2015年の国勢調査によれば、本県の65歳以上の高齢者の就業者数は424,230人で、65歳以上人口の24.1%を占め、高齢者の約4人に1人は何らかの仕事に従事していることになります。

65歳以上人口に占める就業者の割合は、2005年と比べ0.9ポイントの増加、2010年と比較すると0.8ポイントの増加となっています。

- 就業者総数に占める高齢者の割合は11.6%であり、2005年と比較すると3.8ポイントの増加、2010年と比較すると2.1ポイントの増加となっています。

◆ 高齢者の就業状況

区 分	就業者総数 A	65歳以上人口 B	65歳以上就業者数 C	C/A	C/B
2005年	3,707,828人	1,248,562人	289,941人	7.8%	23.2%
2010年	3,676,174	1,492,085	347,589	9.5	23.3
2015年	3,668,611	1,760,763	424,230	11.6	24.1

(資料)「国勢調査」

- 産業別就業者の割合は、「鉱・建設・製造業」が24.7%で最も多く、次いで「その他」20.2%、「教育・医療福祉・その他サービス」19.2%の順となっています。

◆ 高齢者の産業別就業状況

区 分	2010年		2015年	
	人 数	割 合	人 数	割 合
農 林 漁 業	38,052人	11.0%	37,576人	8.9%
鉱・建設・製造業	82,158	23.6	104,771	24.7
卸 売 ・ 小 売	55,969	16.1	65,816	15.5
宿泊・飲食・生活サービス	37,227	10.7	48,665	11.5
教育・医療福祉・その他サービス	55,777	16.0	81,615	19.2
そ の 他	78,406	22.6	85,787	20.2
合 計	347,589	100.0	424,230	100.0

(資料)「国勢調査」

2 高齢者の将来推計

(1) 推計人口

○ 本県の65歳以上人口は、「国勢調査(2015年)」では178万人(総人口の23.8%)ですが、「日本の地域別将来推計人口(2018年推計)」による推計では、2020年には191万人(同25.4%)、2025年には195万人(同26.2%)、さらに2040年には224万人(同31.6%)と、3人に1人は高齢者となり、増加のペースは緩やかになりますが、高齢者人口は増えるものと見込まれています。

○ 本県の高齢化率は、全国の推移(2015年:26.6%、2020年:28.9%、2025年:30.0%、2030年:31.2%、2035年:32.8%、2040年:35.3%)と比較すると、3~4ポイント程度下回っており、人口構成は若いと言えます。

しかしながら、75歳以上人口の割合は、全国と比較して低いものの、2015年の10.8%が、団塊の世代が75歳以上となる2025年には15.7%(4.9ポイント増)、2040年には17.1%(6.3ポイント増)と推移し、大幅に増加すると見込まれています。

一方、生産年齢人口割合は2015年の62.5%が、2040年には56.5%(6.0ポイント減)となり、減少していくと見込まれています。

◆ 人口(年齢区分別)の将来推計

(万人)

		0歳 ~14歳	15歳 ~64歳	65歳以上		計	生産年齢 人口割合 (%)	高齢化率 (65歳以上人口の割合)			
				65歳 ~74歳	75歳 以上			(%)	65歳 ~74歳	75歳 以上	
全国	2015年	1,595	7,728	3,387	1,755	1,632	12,710	60.8	26.6	13.8	12.8
	2020年	1,507	7,406	3,619	1,747	1,872	12,532	59.1	28.9	13.9	14.9
	2025年	1,407	7,170	3,677	1,497	2,180	12,254	58.5	30.0	12.2	17.8
	2030年	1,321	6,875	3,716	1,428	2,288	11,913	57.7	31.2	12.0	19.2
	2035年	1,246	6,494	3,782	1,522	2,260	11,522	56.4	32.8	13.2	19.6
	2040年	1,194	5,978	3,921	1,681	2,239	11,092	53.9	35.3	15.2	20.2
愛知県	2015年	102	468	178	97	81	748	62.5	23.8	13.0	10.8
	2020年	98	461	191	93	98	751	61.4	25.4	12.4	13.1
	2025年	93	457	195	78	117	746	61.4	26.2	10.5	15.7
	2030年	89	446	201	79	121	736	60.6	27.3	10.8	16.5
	2035年	86	428	209	90	119	723	59.2	29.0	12.5	16.5
	2040年	84	400	224	103	121	707	56.5	31.6	14.6	17.1

(注) 端数処理の関係で、合計値が合わない箇所あり。

(資料) 「日本の地域別将来推計人口(2018年推計)」(国立社会保障・人口問題研究所)

この推計では、「国勢調査」による2015年10月1日現在人口(年齢・国籍不詳をあん分済)を推計の出発点となる基準人口に用いています。

(2) 被保険者数の推計

- 各市町村が行った被保険者数の推計を集計した結果、2023年度の被保険者数は約448万人と見込まれます。
- 2023年度の65歳以上の第1号被保険者は191万人、40～64歳の第2号被保険者は257万人となる見込みです。
- 2040年度の被保険者数は2023年度と比較し、約6万人減の約441万人となると見込まれます。一方で、第1号被保険者は、約25万人増の約216万人になると見込まれます。

◆ 被保険者数の推計状況

区 分	2021年度	2022年度	2023年度 (A)	2025年度	2040年度 (B)	(B) - (A)
被保険者数合計	人 4,445,052	人 4,461,398	人 4,475,397	人 4,495,127	人 4,411,647	人 △63,750
内						
第1号被保険者	1,894,330	1,899,534	1,905,791	1,918,290	2,160,050	254,259
第2号被保険者	2,550,722	2,561,864	2,569,606	2,576,837	2,251,597	△318,009

(資料) 市町村報告数値

(3) 要支援者数及び要介護者数の推計

○ 2023年度における県内の要支援者数及び要介護者数は、第1号被保険者の18.4%の350,952人と見込まれており、このうち、要支援者数は第1号被保険者の5.7%の109,159人、要介護者は12.7%の241,793人と見込まれています。

また、2040年度には、要支援者数及び要介護者数は、第1号被保険者の20.0%の431,093人と見込まれており、このうち、要支援者数は第1号被保険者の5.8%の125,380人、要介護者は14.2%の305,713人と見込まれています。

◆ 要介護者等の推計状況

区 分		2021年度	2022年度	2023年度	2025年度	2040年度
第1号被保険者		1,894,330人	1,899,534人	1,905,791人	1,918,290人	2,160,050人
要支援者	要支援1	47,026人	48,522人	49,930人	52,141人	56,128人
	要支援2	55,841人	57,576人	59,229人	62,115人	69,252人
	小 計	102,867人	106,098人	109,159人	114,256人	125,380人
	出現率	5.4%	5.6%	5.7%	6.0%	5.8%
要介護者	要介護1	60,322人	62,494人	64,559人	68,019人	78,390人
	要介護2	56,927人	58,950人	60,847人	64,333人	76,209人
	要介護3	43,469人	45,064人	46,597人	49,247人	59,933人
	要介護4	38,700人	40,134人	41,526人	43,972人	54,770人
	要介護5	26,435人	27,373人	28,264人	29,791人	36,411人
	小 計	225,853人	234,015人	241,793人	255,362人	305,713人
	出現率	11.9%	12.3%	12.7%	13.3%	14.2%
合 計		328,720人	340,113人	350,952人	369,618人	431,093人
出 現 率		17.4%	17.9%	18.4%	19.3%	20.0%

(注) 要支援者、要介護者について、第2号被保険者分は除く。

(資料) 市町村報告数値

(4) 要介護者等の居宅・施設別推計

- 2023 年度の要介護者及び要支援者のうち、居宅の者は 305,524 人と推計され、要介護者等全体の 87.1%を占めています。また、介護保険施設利用者は 45,428 人で、要介護者等全体の 12.9%となっています。
- 2040 年度には要介護者及び要支援者のうち、居宅の者は 375,715 人、要介護者等全体の 87.2%と推計され、介護保険施設利用者は 55,378 人で、要介護者等全体の 12.8%と推計されています。

◆ 要介護者等の居宅・施設別推計状況

区 分		2021 年度	2022 年度	2023 年度	2025 年度	2040 年度
要介護者等		328,720 人	340,113 人	350,952 人	369,618 人	431,093 人
居 宅	計	285,142 人	295,787 人	305,524 人	322,113 人	375,715 人
	要介護者等こ占める割合	86.7%	87.0%	87.1%	87.1%	87.2%
施 設	介護老人福祉施設	24,372 人	24,884 人	25,490 人	26,863 人	32,484 人
	介護老人保健施設	17,335 人	17,524 人	17,856 人	18,532 人	20,535 人
	介護医療院	1,444 人	1,499 人	1,681 人	2,110 人	2,359 人
	介護療養型医療施設	427 人	419 人	401 人	0 人	0 人
	小 計	43,578 人	44,326 人	45,428 人	47,505 人	55,378 人
	要介護者等こ占める割合	13.3%	13.0%	12.9%	12.9%	12.8%

(注) 表中の「施設」の欄については、各年度における利用者数の推計

(資料) 市町村報告数値